

愛知県酒類卸販売数量5月

2ヶ月連続の前年クリア

ビール類が伸長

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和8年(26年)5月の愛知県酒類卸販売数量(大卸実績及び小売業者販売実績)は、5万9524kℓ、前年比2.8%増と2ヶ月連続で前年を上回った。そのうちビール類は3万4052kℓ、10.9%増となり2桁増の高伸長となった。一方でビール類以外の酒類は2万5472kℓ、6.4%減となった。

構成比の大きいビール類は、ビールが11.6%増、発泡酒が10.1%増と大きく伸長した。伸長の要因として前年の価格改定の裏年にあたることに加え、秋の酒税改正を控えて大手各社がビール

愛知県の酒類卸販売数量		(単位:kℓ、前年比%)			
区分	酒類	5月		1～5月	
		数量	前年比	数量	前年比
清酒	純米酒	1,801	84.5	11,110	90.7
合成清酒	純米酒	86	89.1	483	96.2
連続式蒸留焼酎	純米酒	1,712	93.1	8,235	95.6
単式蒸留焼酎	純米酒	1,729	84.4	9,791	91.6
みり	純米酒	526	92.2	2,746	99.1
ビール	純米酒	18,806	111.6	79,821	103.0
果実酒	純米酒	131	85.8	5,622	92.3
甘味酒	純米酒	47	87.2	302	101.2
ウイスキー	純米酒	1,259	94.7	6,048	95.5
ブランデー	純米酒	36	90.8	125	94.0
原料用アルコール	純米酒	1	-	1	-
発泡酒	純米酒	15,238	110.1	67,485	94.3
その他の醸造酒	純米酒	7	76.3	51	90.0
内発泡性を有するもの	純米酒	0	-	3	55.9
スピリッツ類	純米酒	10,743	94.0	53,303	97.3
内発泡性を有するもの	純米酒	9,576	87.2	50,856	96.6
リキュール類	純米酒	6,465	100.4	31,338	94.8
内発泡性を有するもの	純米酒	5,177	93.6	26,580	93.2
雑酒	純米酒	1	97.6	9	108.9
合	純米酒	59,524	102.8	276,475	97.1
ビール・発泡酒・その他醸造酒	純米酒	34,052	110.9	147,358	98.8
ビール類除く酒類	純米酒	25,472	93.6	129,117	95.3

井村屋は、6月26日(27日)に東京、名古屋、大阪、福岡の全国4都市で「あずきバー祭り」2026を開催。本格的な夏

75kℓ、2.9%減で推移。ビール類は14万7358kℓ、1.2%減であり、ビールが3.0%増、発泡酒が5.7%減で推移している。ビールは1～3月はマイナ

ハウス食品グループ 東北の新工場が本格稼働

ハウス食品グループの業務用レトルト食品の生産会社のハウス食品グループ東北工場は、福島県福島市で建設を進めていた新工場が6月1日より本格稼働している。同工場は多品種変量生産を可能とする新製法ラインを導入、高まる業務用レトルト食品のニーズに対応した、グループでは東北エリア初となる新工場。

スガキコシステムズ 新社長に菅木寿一氏就任

スガキコシステムズの代表取締役社長に、菅木寿一氏(前専務取締役)が6月24日付で就任した。菅木氏は一前社長は代表取締役会長に就いた。また、今年秋冬には約20年ぶりに関東エリアへの再進出を目指す計画も発表した。

食知る辺

2026年も、はや折り返しとなった。国内の消費動向は生活防衛型が良く言われるが、ハレの日や推し活など出費を惜しまない消費意向や、メリハリ需要、消費の二極化などの動きも見られ、さらなる多様化が見られる。

井村屋 「あずきバー祭り」を開催

井村屋は、6月26日(27日)に東京、名古屋、大阪、福岡の全国4都市で「あずきバー祭り」2026を開催。本格的な夏

元中日の岩瀬も配布

名古屋会場では、ららぽーと名古屋みなとアクルスで6月27日に開催。台風接近に伴うあいにくの雨天であったが、多くの人が会場を訪れ、合計4千本の「あずきバー」を無料配布している。会場にはプロ野球の中日ドラゴンズで活躍した岩瀬仁紀・元選手が来場し、トークショーでは大好物である「あずきバー」について思い出を述べており、来場者に直接「あずきバー」を手渡すなど会場を盛り上げていた。

スガキコシステムズ 新社長に菅木寿一氏就任

スガキコシステムズの代表取締役社長に、菅木寿一氏(前専務取締役)が6月24日付で就任した。菅木氏は一前社長は代表取締役会長に就いた。また、今年秋冬には約20年ぶりに関東エリアへの再進出を目指す計画も発表した。

スガキコシステムズ 新社長に菅木寿一氏就任

スガキコシステムズの代表取締役社長に、菅木寿一氏(前専務取締役)が6月24日付で就任した。菅木氏は一前社長は代表取締役会長に就いた。また、今年秋冬には約20年ぶりに関東エリアへの再進出を目指す計画も発表した。

味の素AGF 「ブレンディ」もアイス提案

味の素AGFは、好調な販売を続ける「ブレンディ」(カフェラテ)「アイス」(アイス)など、好評を得ている。近年、最高気温が40度以上の日を酷暑日と制定するなど、日本の夏季の気候変化は著しく、生活者の水分補給や、涼、冷たいドリンクへの需要が高まっている。今回同社として、カフェのような本格的なラテやアイスメニューをアイスでも手軽に楽しめる商品として、16年8月に誕生。現在、アイテムは、濃密な泡立ちが楽しめる「濃厚シリーズ」から12種、ふわっと広がる香りが楽しめる「芳醇シリーズ」から5種を展開、多様な消費者ニーズに対応するなど、好評を得ている。

都内でイベント開催

6月26(28日)まで、東京・青山にて同ブランド初のアイスで楽しむ無料ドリンクスタンド「アイスでもステイックでカフェ気分」ice CAFE LATORY STAND」をオープン。

国連WFP 名古屋でウォーキング大会

国連WFP協会主催のチャリティイベント「WFPウォーク・ザ・ワールド2026」名古屋が6月7日、名古屋市の鶴舞公園を発着点に行われた。あいにくの雨天だったが、過去最多の1183人が参加。支援への思いを一つに、周辺を歩いた。途上国の子どもたちの飢餓をなくすことを目的とした。

スガキコシステムズ 新社長に菅木寿一氏就任

スガキコシステムズの代表取締役社長に、菅木寿一氏(前専務取締役)が6月24日付で就任した。菅木氏は一前社長は代表取締役会長に就いた。また、今年秋冬には約20年ぶりに関東エリアへの再進出を目指す計画も発表した。

スガキコシステムズ 新社長に菅木寿一氏就任

スガキコシステムズの代表取締役社長に、菅木寿一氏(前専務取締役)が6月24日付で就任した。菅木氏は一前社長は代表取締役会長に就いた。また、今年秋冬には約20年ぶりに関東エリアへの再進出を目指す計画も発表した。

国連WFP 名古屋でウォーキング大会

国連WFP協会主催のチャリティイベント「WFPウォーク・ザ・ワールド2026」名古屋が6月7日、名古屋市の鶴舞公園を発着点に行われた。あいにくの雨天だったが、過去最多の1183人が参加。支援への思いを一つに、周辺を歩いた。途上国の子どもたちの飢餓をなくすことを目的とした。

スガキコシステムズ 新社長に菅木寿一氏就任

スガキコシステムズの代表取締役社長に、菅木寿一氏(前専務取締役)が6月24日付で就任した。菅木氏は一前社長は代表取締役会長に就いた。また、今年秋冬には約20年ぶりに関東エリアへの再進出を目指す計画も発表した。

スガキコシステムズ 新社長に菅木寿一氏就任

スガキコシステムズの代表取締役社長に、菅木寿一氏(前専務取締役)が6月24日付で就任した。菅木氏は一前社長は代表取締役会長に就いた。また、今年秋冬には約20年ぶりに関東エリアへの再進出を目指す計画も発表した。